



アジア連帯委員会（CSA）ホームページで振り返る 2022年9月～2023年9月事業と活動ダイジェスト

目次

2022.09.28	▶▶ 第42回定期総会を開催	2
2022.10.02	▶▶ 第2回日本語プレゼンテーション・コンテストに参加	3
2022.11.09	▶▶ 常任理事組織訪問	4
2022.11.20	▶▶ 第43回日本定住難民とのつどい	5
2022.12.16	▶▶ CSA25番目校ナラオ村新校舎進捗状況	6
2022.12.27	▶▶ 北海道FM「ワークライフシナジー」出演	7
2023.01.05	▶▶ 澤田会長年頭ご挨拶	8
2023.01.24	▶▶ マスク寄贈に対する感謝状授与	10
2023.02.07	▶▶ 在本邦ラオス人民民主共和国大使館訪問	11
2023.03.01	▶▶ 2023年WSTトピックス	12
2023.03.30	▶▶ アジア連帯委員会（CSA）第25回評議員会開催	13
2023.04.12	▶▶ ベトナム建国記念日祝賀会	14
2023.04.25	▶▶ ラオス小学校建設寄贈調印式	15
2023.05.08	▶▶ 第94回メーデー中央大会出展	16
2023.05.29	▶▶ ナラオ村小学校新校舎引き渡し式	17
2023.06.23	▶▶ 駐日ラオス大使との意見交換	18
2023.06.30	▶▶ クラウドファンディング展開中	19
2023.08.08	▶▶ クラウドファンディングお礼と目標達成のお知らせ	20
2023.08.24	▶▶ アジア連帯委員会（CSA）第26回評議員会開催	21



2022.09.28 第42回定期総会を開催



ご来賓 連合清水事務局長挨拶



総会の模様



会長と新事務局長挨拶

アジア連帯委員会（CSA）第42回定期総会を9月28日連合会館にて開催いたしました。昨年はコロナ感染拡大防止の観点から、初めてZOOMによる開催方式となりましたが、2年ぶりに代議員、傍聴者、役員が一堂に会しての総会となり、対面開催のありがたみを実感したところです。

司会の山根木副会長より市川代議員（電機連合）を議長に選出し、アジア連帯委員会を代表し澤田会長より1年間のお礼のご挨拶、ご来賓の連合清水事務局長より激励のご挨拶を受けました。その後、役員、代議員、傍聴者47名の出席を確認し、議長より総会の成立が宣言されました。

報告事項については、鈴木事務局長より「2021年度事業報告」「2021年度会計報告」をし、大瀨監事が会計監査報告し承認されました。協議事項については、鈴木事務局長より第1号議案「2022年度事業計画」、第2号議案「2022年度予算」について提案、1件の質問を附して提案通り決定いたしました。

また、第3号議案「役員の改選」については満場の拍手で承認され、澤田会長と新任の山崎事務局長より挨拶を受け、全ての議事が終了、2022年度の活動がスタートを切りました。これまで同様、アジア連帯委員会の活動に対し、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上

2022.10.02 第2回日本語プレゼンテーション・コンテストに参加



堂々とプレゼンする発表者



華麗な民族舞踊



優勝チームを表彰

10月2日、延期となっていた「日本語プレゼンテーション・コンテスト」がJICA市ヶ谷ビルで開催されました。コンテストの目的は、日本語力およびプレゼンテーション能力の向上、定住難民コミュニティ他の皆さんとの親睦と相互理解、若者たちを中心に日本社会への参画を促進することです。

当日は、カンボジア、ベトナム、ミャンマーよりそれぞれ2チーム、計6チームがエントリー、パワーポイントを使って「平和」「多様性」「子供たちの未来」などをテーマに、緊張のなかにも堂々と、そして、流暢な日本語でプレゼンを展開しました。審査員からの質問にもチームで助け合い返答をしていたのが好印象でした。

審査中は、在日本ラオス協会による民族舞踊が披露され、会場内は和やかな雰囲気に包まれました。結果は、カンボジアチーム『クメールdeクメール』が優勝を果たし、審査委員長を務める藤原理事長より盾と副賞が贈呈され、盛大な拍手のなか幕を閉じました。

アジア福祉教育財団は、我々アジア連帯委員会とも交流があり、11月は「日本定住難民とのつどい」に参加予定です。現状や文化をお互い正しく知ることは、今後活動をしていくうえでたいへん重要なことだと痛感しました。

以上



2022.11.09 常任理事組織訪問



連合本部訪問 芳野会長、清水事務局長と

第49回常任理事会（9月28日開催）で確認の通り、10月25日から11月2日にかけて澤田会長、鈴木副会長、山崎事務局長の3名で常任理事組織にご挨拶に伺いました。目的は、役員改正に伴う新体制報告、これまでの支援へのお礼、活動に対する意見交換などです。

それぞれの組織代表にもご出席をいただき、2022年度の主な活動である「救援物資事業」「小学校建設・補修事業」「教育支援事業」とそれぞれの募金についてご理解をいただくとともに、3年ぶりに実施予定の「2023年ワーキング・スタディ・ツアー」への派遣のご依頼をさせていただきました。

意見交換のなかでは、CSAに対する要望や活動を進めるうえでのヒントをいただき、たいへん有意義な時間を共有することができました。CSA組織そのものとCSAの活動を幅広く知らしめること、丁寧な取り組みをしていくことが、今後の活動の活性化につながるとあらためて実感しました。

<実績>

- 10月25日 連合東京、JAM
- 10月26日 自治労、電機連合、UAゼンセン
- 10月31日 情報労連
- 11月2日 連合本部、日本教職員組合、基幹労連

以上



2022. 11. 20 第43回日本定住難民とのつどい



表彰式



藤原理事長挨拶

日本定住難民とのつどいに出席しました。第1部では「次世代が語る、私たちの思い～難民コミュニティ団体の活動継承～」のテーマで意見交換会が行われました。

登録会員は少数ですが25年にわたり地道に活動を続けている在日カンボジアコミュニティよりプレゼンテーションがありました。地域貢献活動、カンボジア伝統文化の継承活動、カンボジア人への生活相談のほか、仏教国を象徴するよう年間5回お寺の宗教儀式に参加・呼びかけをするなど、難民に寄り添った活動を展開しコミュニティの活性化に繋げています。

一方、課題としては、情報配信が若年層に届いていないことや、同じ志を持った関連団体が個別の活動を行っていることを挙げ、その対策として地域と協働し子供たちへの学習支援や、子供たち向けにロールモデルによるお話し会の開催など、次世代を意識した活動の展開を目標に掲げています。「新たな活動によりコミュニティが賑やかに！」というフレーズにはたいへん共感しました。

また、在日外国人コミュニティ団体であるABCジャパンの日本語講師より取り組みの紹介がありました。「困っている人がいれば助ける」の気持ちで活動を拡大し、テーマである次世代への継承については、SNSの配信を効果的にとらえ力を入れています。生憎、モニター越しの写真撮影が禁止されているため、意見交換の様子は掲載できませんが、私たちが活動を進めるにあたってヒントとなることが多いひとときでした。

第2部では、主催事務局と難民事業本部よりこの1年の活動報告があり、特定営利活動法人PEACEなど、難民支援や地域の発展に貢献した3団体を表彰しその栄誉を称えました。

以上



2022. 12. 16 C S A 25番目校ナラオ村新校舎進捗状況



新校舎建設に取り掛かる



建設にあたる業者



順調に推移

本ホームページにも掲載の通り（ニュース／バックナンバー2022年3月、6月参照）シンフォニアテクノロジー労働組合（電機連合）の協賛によるC S A 25番目の小学校となるビエンチャン県ナラオ村新小学校建設の進捗状況が現地から届きました。

C S A と建設業者の懸け橋となっていていただいている現地コーディネーターによると2023年の完成を目指し作業は順調に捗っており、現在6割方出来上がっています。完成すれば課題である生徒数の大幅な増加により学ぶ機会を失うことも解消されると思います。

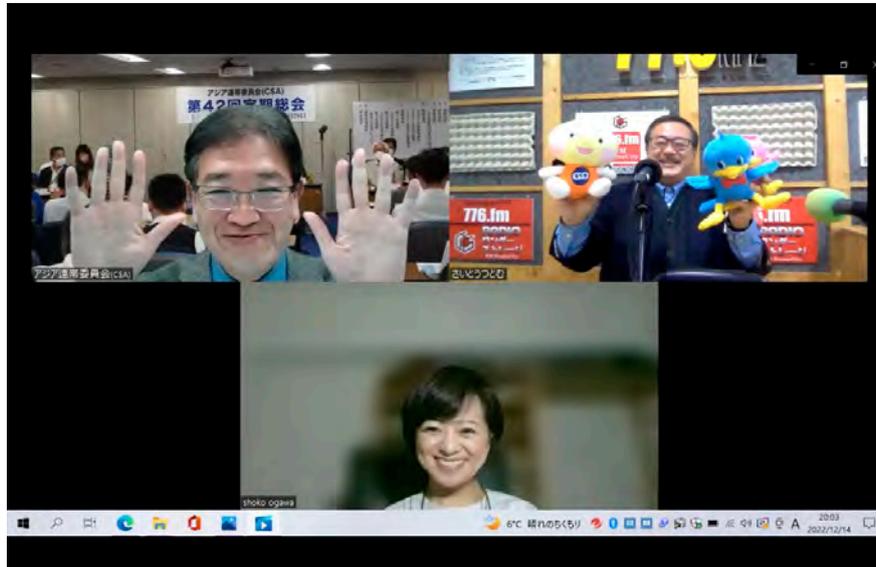
3年ぶりの実施となる2023ワーキング・スタディ・ツアー（2023年2月18日～2月25日）でも新校舎を訪問し、先生と今後の予定について意見交換、また、生徒たちと交流をしてまいります。満面の笑顔で団を迎え入れてくれるかと今から楽しみです。

ラオスも小学校と中学校は義務教育です。首都から離れた子供たちは遠くに小学校があり教育を受けるチャンスを逃しているのが現状です。2022年度の主要活動である「小学校建設・補修事業ならびに募金」へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

以上



2022. 12. 27 北海道FM「ワークライフシナジー」出演



CSA事務所と局をつないでZOOMで出演

連合北海道前副事務局長で、現在、北海道FMラジオパーソナリティーを務める齋藤勉さんとのご縁により、12月12日（月）19時から20時「ワークライフシナジー」に山崎事務局長が出演いたしました。

前半は、労働運動歴や趣味・資格など自己紹介から始まり、CSA設立の経緯と目的、主な事業と募金、組織と財源等について、途中リクエスト3曲（かなりの懐メロ）と雑談をはさみながら進めました。

後半は、着任して2か月の感想「CSA活動の浸透が薄い」ことを課題として挙げそれを解消するためにSNSを活用した情報発信と会員拡大に向けたオルグ等、デジタルとアナログを併用していく必要があることに触れました。

パーソナリティーの2人のフォローに助けられ、全く緊張せず心地よいひとときとなりました。貴重な体験ができたことに感謝し、これからも事務局長として『丁寧でわかりやすい運動』を心がけていきたいと思えます。

聴いていただいた皆様ありがとうございました。

以上



2023. 01. 05 澤田会長年頭ご挨拶



2023年 年頭ご挨拶

あけましておめでとうございます。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

アジア連帯委員会（以下CSAと略す）は、連合、会員組織および個人会員の皆様からの物心両面の支えによって活動を継続しています。本年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

CSAは、1981年4月16日に「インドシナ難民共済委員会」として発足し、その後活動内容の変化に伴い3度名称変更して現在に至り、一昨年4月に結成40年を迎えることができました。今日までの長きにわたるご支援ご協力に改めて衷心より感謝申し上げます。

2022年の冬季オリンピック終了直後の2月24日に始まったロシア軍のウクライナ侵略は、いまだに解決せず悲惨な状況が続いています。関連して世界的な食糧不足やエネルギー価格の高騰などを引き起こし、世界各国は物価上昇に困窮しています。早期停戦とロシア軍の完全撤退を強く望むものです。

新型コロナウイルスについては、従来より感染力の強いオミクロン株によって昨年8月に第7波の感染ピークを迎え、医療機関への負担が高い状況が続いていました。その後、少し落ち着きを見せ始めていましたが年末から年始にかけて第8波の到来といわれています。しかし、経済の活性化のためにいろいろな規制が緩和されており、そのような状況下での感染防御が求められています。一方でオミクロン株用のワクチン接種が進められており、国産初の治療薬も緊急承認されたことは希望の光となっています。

また急激な円安状況が続いていましたが、若干改善されつつあります。しかしエネルギーをはじめ輸入品価格の高騰がいまだ顕著となっており、海上輸送費も依然として高騰状態を続けています。



CSAはこのような状況を踏まえ、会員組織の皆様と相談しながら活動内容の見直しを含め対処し、昨年9月の定期総会で今後の方針を確定しました。まず支援国ラオス・タイの現状把握と課題抽出を行い今後の支援の在り方を検討するためCSA代表団を2月下旬に現地に派遣します。さらに活動の重点を「救援物資」「小学校建設・補修」「教育支援」の事業と位置付けて取り組んでいきます。以下に簡潔に触れますのでそれぞれを目的とした募金活動を含めて、ご理解とご協力をお願いします。

1. 救援物資事業

1981年から取り組んできた「救援衣類を送る運動」では、毎年集約された善意の救援衣料を、タイ・ラオス両国の要請に基づき必要とする人々に配布し、両国政府から感謝されてきました。しかし2020年以降、新型コロナ感染状況および輸送コストの高騰を受け中断し、マスクの配布など代替支援を行ってきました。今年度も、同様の位置づけの下、アジアを対象とし保健・衛生面から支援すべく具体的な検討を進めています。

2. 小学校建設・補修事業

ラオス初等教育改善のため、1995年からこれまでに小・中学校24校を建設し寄贈してきました。また、老朽化した校舎を父兄の労務提供も求め計画的に補修しています。現在、会員団体からの協賛金も活用して25番目校を建設中であり、今年前半に寄贈できる見通しです。一方で、これまでの寄贈校から老朽化による具体的な補修の要請がありますので、何とか資金を工面して対応できるよう検討しています。今後も必要な補修を行う一方、現地からの要請も踏まえ新たな校舎建設・寄贈に向けた検討も進めていきます。

3. 教育支援事業

2002年にラオスでも指折りの優秀校であるサンティパープ高校に寮を建設・寄贈し寮生90名の生活と学業を支援することにより、貧困などの事情によって進学が困難な生徒が高等教育を受けられることを可能にしてきました。寮生たちは総じて優秀な成績で卒業後はほぼ全員が進学し、日本への国費留学を果たすなど国を支えるリーダーとして成長している人もいます。今後も高校生寮支援を続けるとともに、ラオスの小学校に教科書、文房具、運動用具などを支援することも検討していきます。

このように私たちの活動は、そこに住み、そこで学んでいる人達にとっては無くてはならないものとなっています。より多くの皆さんに、この活動の内容を知っていただき、ご協力をいただけるよう努力していきますので、本年も従来に増したご支援をよろしくお願いします。

最後に、2023年が皆様にとって良き一年となることを切望し、年頭の挨拶とさせていただきます。

アジア連帯委員会（CSA）会長 澤田 和男
以上



2023.01.24 マスク寄贈に対する感謝状授与



センター長からの感謝状



学生へマスクの贈呈

アジア連帯委員会常任理事、ならびに、監事を担っていただいているUAゼンセンのご厚意により、独立行政法人日本学生支援機構が運営する「日本語教育センター」に不織布マスク19,800枚をご提供いただきました。昨年11月本施設を訪問した際、学生たちにとってその実用性を実感し寄贈するに至り、1月18日に感謝状を受け取りました。

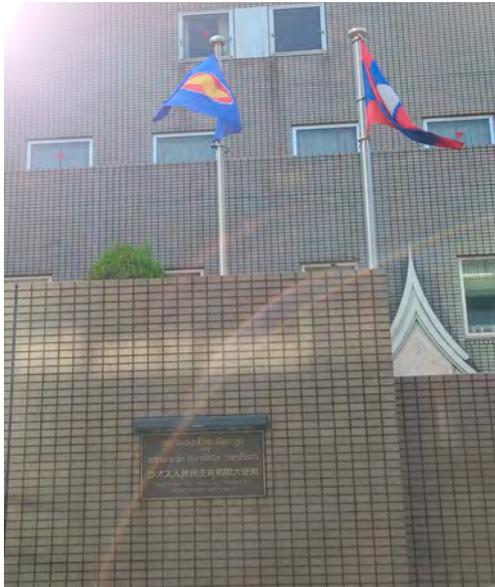
日本語教育センターでは、1年半の間に40か国約200人の留学生を受け入れております。内訳ではアジアからの留学生が7割強を占め、ラオスからも16名の学生が国費で入学、その中には、アジア連帯委員会で寮の運営支援をしているサンティパープ高校の学生も数名おります。

訪問時にラオスからの留学生たちと懇談の場を設けていただきましたが、学ぶことにたいへん熱心で、物静かで、質素な生活を送っています。「休日は何をしているの？」の問いかけにも「勉強して過ごす」「ほとんど外出はしない」と答えていました。

アジア連帯委員会では物資支援事業を展開しています。今回贈らせていただいたマスクが学生たちに少しでも役に立ち、安心して日本で生活を送れることを願っております。次回は笑顔で再会したいものです。

以上

2023.02.07 在本邦ラオス人民民主共和国大使館訪問



ラオス大使館外観



歓談を終えて一息

現在CSAでは、3年ぶりに実施が可能となりました2023ワーキング・スタディ・ツアー（2月18日出発・25日帰国）に向けて逐次準備を進めています。2月2日には事前学習会を開催、視察団一同顔合わせと心合わせをしたところです。

今回視察をするのはCSAの主要支援国のひとつであるラオス人民民主共和国。これまで寄贈をした小学校（24校）や、現在建設中の小学校、運営支援をしているサントパープ高校を訪れ、現地の教育実態や生活環境に触れ今後の活動に活かすことが目的のひとつです。

そこで本日はCSAと連携を続けている在本邦ラオス人民民主共和国大使館を鈴木副会長、山崎事務局長で訪問、参事官、二等書記官とざっくばらんに意見交換をしました。お二人とも新しく小学校を建設していることに対しいへん興味をもたれており、感謝の言葉をいただきました。「コプチャイ ライライ」

実は、先方の都合で急遽通訳予定の方が対応不可となり、不安の中での意見交換となりましたが心は通じるものです。40年にわたるCSAの活動が高く評価されていることに感謝と自信をもって、現地視察に行ってまいります。

以上



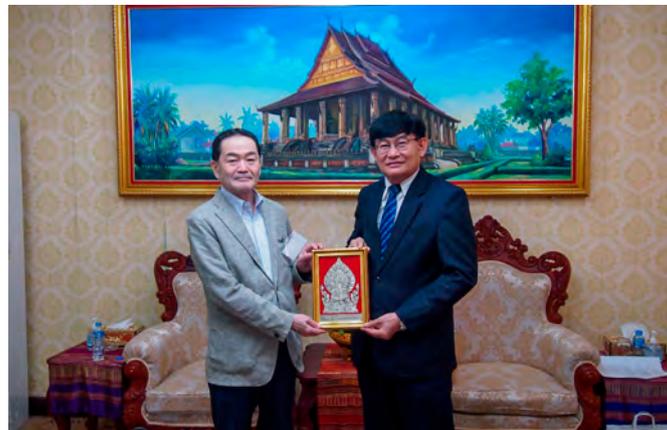
2023.03.01 2023年WS Tトピックス



ナラオ小教室で折り紙



サンティパープ高校寮生集合



大臣から盾を授与

2月18日から25日まで『2023年C S Aワーキング・スタディ・ツアー』を、2020年1月以来3年ぶりに実施しました。6組織に事務局を加え計9名で団を組み、ラオスとタイの実情を見聞きし現地の皆さんと触れ合っていました。

シンフォニアテクノロジー労働組合のご協力により建設中の25番目の小学校では新校舎の進捗を確認し生徒たちと紙飛行機を作って遊びました。C S Aが学生寮の運営支援をしているサンティパープ高校では、勉強熱心な学生たちから大いに歓迎され、先生たちと課題について意見交換をしました。

また、ラオス教育スポーツ省大臣との面会では、C S Aのこれまでの功績を称え盾を贈呈していただきました。コロナ禍でご苦勞をされているようですが、現場に足を運ぶことを大切にされる行動派、日本留学の経験をお持ちの気さくな大臣という印象です。

現地の方々との会話の中で痛感したのは、想像している以上にC S A活動に対する評価が高いことです。参加者それぞれ気づきがあったと思いますが、自組織の中で広報することを期待します。なお、全行程の報告は現在冊子に取りまとめ中です。

今回の視察に関わったすべての方たちへ コブチャイ ライラーイ♪

以上



2023.03.30 アジア連帯委員会（CSA）第25回評議員会開催



参画された評議員



常任理事席



澤田会長挨拶

3月29日 連合本部においてアジア連帯委員会（CSA）第25回評議員会を開催しました。2022年度事業前半の振り返りと3つの議案を団体会員代表者の評議員にご審議いただきました。

澤田会長は挨拶の中で、3年ぶりに実施できた「ワーキング・スタディ・ツアー」への参加のお礼と、議案に挙げているナラオ村に建設中の小学校引き渡し式、ならびに、26番目校候補地の視察を5月に予定していること、パホム村小学校補修費を募る方法としてクラウドファンディングにトライすることに触れられました。

山崎事務局長より主要活動報告、会計ならびに会計監査報告をしましたが、その中で、毎月2回更新をしているホームページと今年からスタートしたSNSについてあらためて周知と活用をお願いをしました。また、ワーキング・スタディ・ツアー報告では画像に基づきコメントをするとともに、次回以降の積極的な参加と派遣を呼びかけました。

特筆すべき議案は「クラウドファンディングの実施」についてです。4月を準備期間とし、5月～7月の3か月間で具体的に取り組みます。WEB上で世間に幅広く訴えていきますが、まずはCSAを支えていただいている会員の皆様が組織内でこの取り組みを広報していただくことが成功のキーとなることを申し添え協力のお願いをさせていただきました。

3つの議案は満場の拍手で可決決定されました。2022年度後半もCSAの活動とともに盛り上げていきましょう。



2023.04.12 ベトナム建国記念日祝賀会



山崎事務局長挨拶



大盛況の音楽祭



伝統の先祖礼拝式

4月9日 大田区産業プラザにおいて、恒例となりましたNPO法人日本在住ベトナム人協会主催「ベトナム建国記念日祝賀会」が開催されました。この日は、すべての子供や孫の価値を享受し、母国への愛や同胞への愛を深め、祖国をより構築するにはどうすべきかを見つめ直す日であり、ベトナムの人々にとって偉大な式典に位置づけられます。

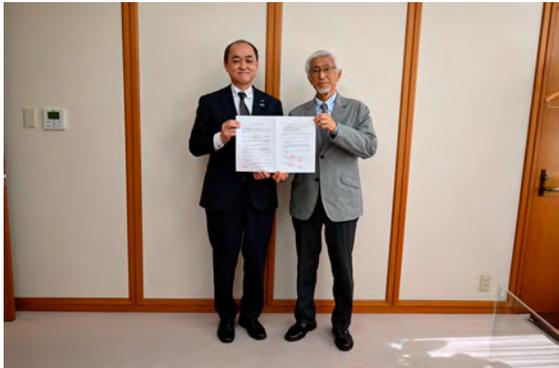
冒頭、3月13日にご逝去された、ベトナム人協会副会長グエン・ミィ・トゥアン氏（南海 泰平氏）を偲び参加者一同で黙祷を捧げました。氏のベトナム人協会の構築とベトナム社会の発展を目指しての功績は誰もが認めるところであり、協会一同で、氏の遺産を引き継いで計画を実現していく旨の追悼の言葉がありました。

来賓としてお招きいただいた山崎事務局長は、南海氏へのご冥福をお祈りするとともに、アジア連帯委員会の評議員という重責を担っていただいたこと、2021年に発行した記念誌「連帯の40年」に寄稿をしていただいたことあらためて感謝の意を表しました。また、現在アジア連帯委員会が進めている活動を紹介するとともに、これからも協会の皆様と情報を密にして連携強化を図っていく内容の挨拶を述べました。

第2部の音楽祭では、アメリカでも活躍をされているベトナム人グループを含めた5組による歌の競演がありました。コロナ感染拡大対策が徐々に緩和されたこともあり、会場は大盛況、再三にわたるアンコール（ベトナム語のため確実ではありませんがそのようなノリではないかと…）もあり和やかに幕を閉じました。



2023.04.25 ラオス小学校建設寄贈調印式



松浦会長と澤田会長



出席者による意見交換

常任理事組織であるU Aゼンセンとアジア連帯委員会は、4月21日、U Aゼンセン本部において「ラオス小学校建設に関する覚書」を締結しました。

U Aゼンセンは昨年10月開催の第2回中央執行委員会において、U Aゼンセン結成10周年にあたり、海外における社会貢献活動の一環として、ラオスに小学校を建設寄贈することを決定していただきました。今回の小学校はC S Aとして第26番目校となります。

覚書の調印に当たり澤田会長は「今回、第26番目の小学校を建設寄贈いただき、アジアの国々へ向けた連帯の活動を続けていけることに感謝したい」と述べ、これを受けてU Aゼンセン松浦会長は「結成10周年の節目に当たり建設寄贈を決定したが、それで終わるのではなく息の長い社会貢献活動として引き続き支援をしていく」と語られました。

調印式では、まず、山崎事務局長より「ラオス小学校建設に関する覚書」を読み上げ相互に内容の確認をした後、松浦会長、澤田会長の両名が調印を行いました。その後、調印済の覚書の交換、写真撮影、意見交換をし和やかなうちに終了しました。

本日を皮切りに具体的に準備に入りますが、純真な笑顔であふれるラオスの子供たちが教育の機会を得て未来に希望が持てるよう、寄贈団体であるU Aゼンセンと連携し取り組みを進めてまいります。



2023. 05. 08 第94回メーデー中央大会出展



多くの方が詰めかけた
ブース



活動紹介のパネル



人気のラオス手工芸品

「支え合い・助け合う社会をつくり、暮らしを守る！笑顔あふれる未来をめざし力を合わせ、ともに進もう！」をスローガンに、4月29日、代々木公園において第94回メーデー中央大会が開催されました。4年ぶりに平常時に戻った式典は好天にも恵まれ、多くの参加者で賑わいました。

アジア連帯委員会では今年も会場内に出展をし、これまでの「あゆみ」や主要事業をパネルで紹介をするとともに、活動支援の一環として募金のお願いもさせていただきました。返礼品として用意したラオス手工芸品やビアラオはたいへん好評で、ブース内は活気にあふれていました。

今年も来場された組合員やOBの皆様には活動をご理解いただき、たくさんの募金にご協力いただきました。この場をお借りして感謝申し上げます、ありがとうございました。



2023.05.29 ナラオ村小学校新校舎引き渡し式



挨拶する森岡委員長



教育局長とシンフォニアリーダー



代表者によるリボンカット

第25回評議員会で確認の通り、5月21日から27日まで、UAゼンセン（3名）シンフォニアテクノロジー労働組合（3名）CSA（2名）の計8名でラオス視察に行ってきました。今視察の目的の一つであるCSA25番目校ナラオ村小学校新校舎が無事完成したことを受け、5月23日の引き渡し式に出席をしました。

太陽が照り付ける体感温度40度のなか、県知事、市長、教育・スポーツ省局長、建設会社社長等が来賓として出席されCSAに対してそれぞれお礼の言葉を述べられました。また、テレビ・新聞のメディアも駆けつけ（翌日の、Vientiane Timesにも大きく取り上げられました）我々の想像を超えて華やかな式典となりました。

今建設の協賛会員であるシンフォニアテクノロジー労働組合 森岡委員長は、挨拶の中で「小学校を大切に使ってほしい、お父さんお母さんにも感謝の気持ちを忘れないでほしい」と生徒たちに向けてメッセージを送りました。その後、リボンカット、記念撮影、新校舎見学、パーシーセレモニー、生徒たちによる舞踊、会食と続けました。約3時間の式典でしたが、県知事を始め来賓が途中退席することがなかったのは好印象です。

初等教育にたくさんの課題があるラオスでは、新校舎の建設・教育の充実は次代を担う子供たちへの期待が込められています。純真な子供たちが平等に教育が受けられるようにCSAとしても可能な限り支援を継続していきます。ラオスの子供たちの未来に幸あれ！

※CSAでは26番目小学校の建設に向けて寄贈産別のUAゼンセンと連携し準備を進めています。また、適宜ご報告させていただきます。



2023.06.23 駐日ラオス大使との意見交換



ラオス教育・スポーツ省訪問



ナラオ村小の生徒たち



フォンサムット大使と書記官

6月20日、鈴木副会長と山崎事務局長で、港区西麻布にある駐日ラオス人民民主共和国大使館を訪れ、5月に実施したラオス視察についての報告をしました。報告の内容は、①ナラオ村に建設・寄贈した小学校新校舎の引き渡し式を無事に終えたこと、②26番目の小学校建設に向けて現地と連携して進めていることの2点です。

たいへん嬉しいことに今回は特命全権大使も同席されました。大使は、CSAの歴史や活動に対してたいへん関心を持たれ、小学校建設や高校生寮運営の『教育支援』を高く評価されました。また、これら教育支援の基になる財源について、他のNGOとの連携について等質問や意見をちょうだいしました。

何度か触れていますが、ラオスは小・中学校は義務教育であるにもかかわらず、近隣に学校が無いことや、勉強意欲はあるものの家庭の事情で中退してしまう子供たちが散見されます。さらに、教育分野における国家予算の不足、教員の能力の低下、都市部と地方部の格差など教育分野における課題は山積しています。

今回の意見交換でCSAが今日まで継続している活動がラオスの子供たちのみならず、国全体に良い影響を与え役に立っていることを再認識しました。併せて、この実態をCSA会員組織を中心に広げていくことの必要性も痛感したところです。最後に、大使を囲み記念撮影と再会を約束し、1時間にわたる意見交換を終了しました。



2023.06.30 クラウドファンディング展開中



山間部のパホム村小学校



サッカーボールなど贈呈



教室内の破損した天井

アジア連帯委員会（CSA）では、初の挑戦となりますクラウドファンディングを展開中です。プロジェクトを立ち上げたきっかけは、2022年6月にCSA代表がラオス山間部に位置するパホム村小学校（2005年に建設・寄贈）を点検で訪れた際、使用不可のトイレと教室内天井の雨漏り等を目の当たりにしたことによります。

校長先生はじめ保護者や村長からも、子供たちが安全で快適な学校生活を送れるようできるだけ早期の補修を懇願され、CSAとしては第25回評議員会（3月開催）において、インターネット上で不特定多数の人から資金提供を呼び掛けるクラウドファンディングを実施することを組織決定しました。

6月12日のスタートから今日までの19日間、ご賛同いただいた人たちの温かいご支援により、いまのところ順調に推移をしています。下記にクラウドファンディングのURLを貼りましたので、一度アクセスいただけますようよろしくお願いいたします。応援コメントや活動記録も随時更新中です。

ラオスの子供たちに笑顔と明るい未来を！
皆さんの力をお貸しください。また、周りの方にも拡散いただけたら嬉しいです。

【クラウドファンディング公開URL】

<https://readyfor.jp/projects/119355>



2023.08.08 クラウドファンディングお礼と目標達成のお知らせ



シンフォニアテクノロジーグループエグゼクティブ部



UAゼンセン宮城県支部署名活動

6月30日に当HP上で紹介をさせていただきましたクラウドファンディング「ラオスパホム村小学校補修プロジェクト」は、皆様のご支援・ご理解のおかげで目標を大きく上回り達成をすることができました。遅くなりましたが、この場をお借りして心より感謝を申し上げます。温かいメッセージにも大いに励まされました、ありがとうございました。

結果を分析しますと、支援者の大半はCSAの団体会員（組織・個人）、個人会員、これまで関わりのある方たちですが、CSAと連携をしているNGOや、プロジェクトページで活動を知りご賛同いただけただけの一般の方たちが参加してくれたことも、トピックのひとつです。

また、支援率（訪問者数に対する支援者数の割合）15.2%は、運営会社「READY FOR」が示す平均支援率6%の倍以上の数字であり、READY FOR担当者からも注目に値するとの評価をいただいております。

公開期間 6月12日～7月25日 44日間
 目標金額 1,000,000円
 支援総額 1,828,000円
 支援者数 115人（組織からの支援も含む）
 訪問者数 717人
 支援率 15.2%

さて、本クラウドファンディングは、ご支援いただいた方（組織）に対し、5通りのリターンを設定して展開をしました。その中で、100,000円のご支援をいただいた方はアジア連帯委員会HP/SNSに名前を掲載することをプロジェクトページに謳っていますのでここでご紹介いたします。

情報労連 様・シンフォニアテクノロジーグループユニオン 様・
 東亜道路労働組合 様・敷島製パン労働組合 様・UAゼンセン宮城県支部 様
 他に1組織・2個人よりご支援いただきましたが、掲載は遠慮されております。

クラウドファンディング成功の秘訣は、SNSを駆使してタイミングとセンス良く広報活動を徹底すること、そして、支援者はもちろんお声がけをした方たちにも迅速にお礼と進捗状況を伝えることが大切だと少ない経験から学びました。

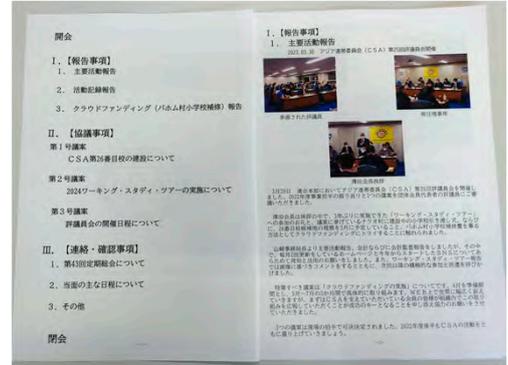
当初、展開するにあたり不安を隠せなかったクラウドファンディングですが、大成功に終わったと事務局一同自負しております。これからも皆様からお知恵をいただきながら活動を進めてまいりますので、動向についてご注目いただけたら幸いです。



2023. 08. 24 アジア連帯委員会（CSA）第26回評議員会開催



澤田会長挨拶



評議員会報告・議案書



参加された評議員

8月23日 連合本部においてアジア連帯委員会（CSA）第26回評議員会を開催しました。3月開催の第25回評議員会以降今日までの事業報告と3つの議案についてご審議いただきました。

冒頭、澤田会長は挨拶の中で、ラオス・ナラオ村に建設・寄贈した第25番目校舎の引き渡し式が5月に執り行われたことに触れ、協賛組織であるシンフォニアテクノロジー労働組合のご支援に感謝の意を表しました。また、現地の要請に基づき、ラオス・パホム村にある第15番目校の補修のためのクラウドファンディングを実施し、目標金額100万円を大幅に上回る180万円超えの資金が調達できたことに対して、喜びとご支援へのお礼を述べられました。

その後、山崎事務局長よりHPに掲載の主要活動報告を振り返るとともに、クラウドファンディングの経過と結果について詳細に報告を受けました。いかに事前の準備と会員組織との繋がりが大切かを参加者と共有しました。議案については、団体会員のUAゼンセンと連携しラオスに第26番目校舎の新設準備を進めていること、2024ワーキング・スタディ・ツアーを実施すること、次年度より評議員会の開催日程を見直すことを提案し可決決定されました。

今年度のCSA活動も残すところ約1ヶ月、9月27日開催の第43回定期総会を皆さまと迎えるべく、積み残しが無いよう取り組んでまいります。